



オーガニックを 仙台で楽しもう

～オーガニックを味わい、感じ、未来を変えよう～



開催報告書

主催：オーガニックウィーク実行委員会

オーガニックを仙台で楽しもう
～オーガニックを味わい、感じ、未来を変えよう～
開催報告書

<開催概要>

- 【イベント名】「オーガニックを仙台で楽しもう～オーガニックを味わい、感じ、未来を変えよう～」
- 【開催日】2017年11月11日(土)
- 【開催時間】10:30～16:00(受付開始10:00)
- 【場所】仙台市市民活動サポートセンター地下1F市民活動シアター(青葉区一番町4丁目1-3)
- 【主催】オーガニックウィーク実行委員会(朝市・夕市ネットワーク、特定非営利活動法人環境保全米ネットワーク、せんだい食農交流ネットワーク、公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク)
- 【後援】東北農政局、宮城県、仙台市、ミヤギテレビ
- 【協賛】DIGOLD(オーガニック・ウィーク・センダイ2017動画製作)
- 【入場料】1,000円(中学生以下無料、再入場可能、申し込み不要)
- 【来場者数】48名(一般:30名、講師・スタッフ・ブース出展:18名)
- 【出展団体】カネサオーガニック味噌工房、六根舎、ともちゃんの野菜畑
- 【チラシ設置】宮城県、生活協同組合あいコープみやぎ、オーガニック検査員協会、特定非営利活動法人環境保全米ネットワーク、公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク等

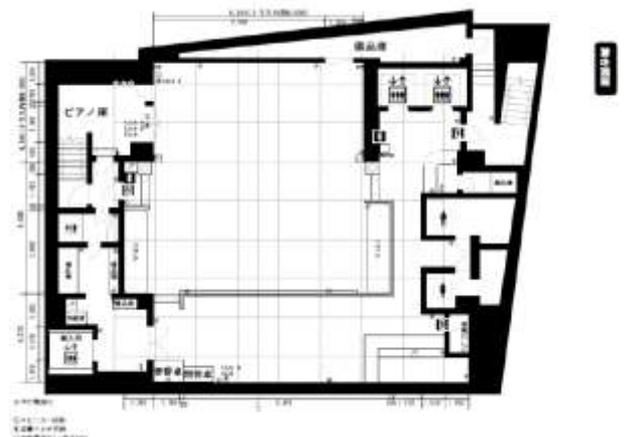
<開催目的>

- オーガニックとは何かを知ってもらう
- 食べ物だけではない、身の回りにあるオーガニックなものを知ってもらう
- 宮城県内でオーガニックの農作物・加工品を生産・加工・販売している個人・団体を知ってもらう
- オーガニックをライフスタイルに取り入れるきっかけ作りをしてもらう

<プログラム>

司会：齊藤緑里(せんだい食農交流ネットワーク代表)

- 10:00 開場
- 10:30 開会の挨拶 高橋芳道(特定非営利活動法人環境保全米ネットワーク 事務局長)
- 10:40 DVD上映
- 12:20 ランチタイム・弁当販売・ブース展示
- 13:20 作吉むつ美氏による講演
- 14:40 休憩
- 14:50 トークセッション
- 15:50 閉会の挨拶 三浦隆弘(公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク 理事)
- 16:00 終了



市民活動シアター会場図面



<広報ツール製作・送付・掲載>

【印刷部数】チラシ：1,200枚、プログラム：200枚

【主な送付先】MELON会員（個人・団体・企業）、市民センター、文化施設、自治体、県内環境団体等

【リリース】10月26日に宮城県内の新聞、テレビ、ラジオ各社・各局へリリース文書送付

【新聞掲載】2017年11月1日（水）河北新報朝刊に記事掲載

【メルマガ】10月10日（火）MELONnewsで配信（メルマガ登録者1,543名宛）

11月2日（木）MELONnetで配信（MELON会員登録者271名宛）

11月8日（水）MELONnewsで配信（メルマガ登録者1,543名宛）



A4 イベントチラシ（表/裏）



A5 当日プログラム（表/裏）



新聞掲載切抜き

【WEB】ホームページ作成ツール「Wix」を利用し、2017年用のWEBサイトを作成。独自ドメインを取得（www.organicweek.jp）し、イベント告知やコラムを掲載。



オーガニック・ウィーク・センダイ 2017 WEB サイトトップページ

<プログラム別実施報告①：DVD上映（10:40～12:20）>

【タイトル】「ザ・トゥルー・コスト～ファストファッション真の代償～」

【上映時間】93分

【上映方法】DVDをパソコンで再生し、プロジェクタ（会場設備）でスクリーン（会場設備）に映して上映。パソコンは特定非営利活動法人環境保全米ネットワークの備品を使用。

【上映料金】1日ライセンス：最低保障料金50,000円（税別）※動員人数×500円（税別）が保障料金を上回る場合は、動員人数×500円（税別）。

【上映内容】一般には知られていないファッション業界の裏側にスポットを当てた映画。安価な服が手に入る一方、その服を生産している人々の過酷な労働条件・状況、環境汚染が問題となっている。世界で起こった事故などを事例に挙げながら「服に対して本当



のコストを支払っているのは誰か？」という問題を提起するドキュメンタリー。

【感想抜粋】(原文そのまま)「大量消費に踊らされる社会を変革するためには、こういった啓蒙が重要だ。」「だれかの犠牲の上に、便利な？豊かな？生活をしているというのは、衣服だけではないはず。身近だからこそ気づかないふりしている。原発も基地も震災復興もそして“農”も。」「衣服が製造されている現場をはじめて知りました。コットン農場やアジアの労働現場の厳しさを知りませんでした。」「最近オーガニックコットン表示をよく見かけます。それほど高価ではありません。本物なののでしょうか？」「これまで、衣類を安易に捨てていた自分の行動を激しく後悔、反省しました。現在の雇用、労働の根本的な問題が示されていると感じました。」



<プログラム別実施報告②：ランチタイム（12:20～13:20）>

【弁当販売】仕出し弁当2種類を1,000円で40個（20個×2種類）販売。販売場所は、会場内のバーカウンターエリア。

☆おひさまや（青葉区中央4-8-17）

☆みんなの食堂みのわ（青葉区二日町17-12 豊仙ビル1階）

【ブース出展】六根舎、ともちゃんの野菜畑、カネサオーガニック味噌工房、MELON 食部会

【体験】作吉むつ美氏による、綿くり機（綿花から綿と種を取り分ける道具）の操作体験、ハンドカーダー（取り分けた綿をほぐす道具）の操作体験



仕出し弁当の販売



生産者による販売



来場者と生産者の交流

<プログラム別実施報告③：講演（13:20～14:40）>

【講師】作吉むつ美氏（一般社団法人日本オーガニック検査員協会 代表理事、
特定非営利活動法人日本オーガニックコットン協会 理事）

【内容】「ザ・トゥルー・コスト～ファストファッション真の代償～」の感想振り返りと共有、オーガニックコットンの栽培現場、加工方法、コストの違い、有機栽培と慣行栽培の違い、綿繰り機とハンドカーダーの使い方説明、綿花のサンプル回覧。



DVDの感想振り返り



綿花と綿繰り機の紹介



綿繰り機の操作体験

<プログラム別実施報告④：トークセッション（14:50～15:50）>

【スピーカー】作吉むつ美氏、
田原雅仁氏（六根舎）、
和田智子氏（ともちゃんの野菜畑）
高橋芳道：リード役

【内容】自己紹介を兼ねたオーガニックに対する思いの話しにはじまり、オーガニック認証の話や、その必要性、メリットとデメリットについて話された。会場とのやりとりもあり、オーガニックに対する様々な意見交換がなされた。



同じ目線でトークセッション



ブース出展者と意見交換



会場内にはのぼり旗を掲示

<DVD鑑賞後の感想まとめ（原文そのまま）>

- 大量消費に踊らされる社会を変革するためには、こういった啓蒙が重要だ。また、先進国でも、内部留保する企業から分配を勝ち取らないと、途上国へつながらず好循環を始められない。
- だれかの犠牲の上に、便利な？豊かな？生活をしているというのは、衣服だけではないはず。身近だからこそ気づかないふりしている。原発も基地も震災復興もそして“農”も。
- 消費者という言葉ではなく、顧客、という言葉をつかう。パタゴニアの方の言葉だと思いましたが印象にのこりました。
- 思考停止状態で、ただ安いということで、ユニクロ、ザラ、HMを購入していたが、グローバル化の陰で、劣悪な生活を強られる国の人々に思いを馳せる、想像力を持ちたいと感じた。
- まさにユニクロを着ています。消費一つ一つが選択なのだと改めて感じました。
- ファストファッションを支える？底辺の真実を知りショック。この悪じゅん環をどの様に考えていったら良いのか。
- このさきはいきどまりなり ひきかえせと オーガニックに よびとめられた
- もっと勉強が必要だと思います。消費とは？と考えさせられました。
- ふだん着ている服が私たちの手元に届くまでに、こんなことになっているのか・・・と衝撃でした。着てる人たちがこの現実を何も知らないことじたいおかしいことだなあと感じました。同じ人間なのに、国によって生活水準がちがすぎてこのままではおかしいと感じました。
- 身近に着たり寝たりしているコットン。生活の中での必要性は無意識に使い生活していました。その裏にある大変さ、苦しさをしみじみ感じました。コットンにかぎらず私達の食生活にも同じ事が言えるのではないかと思います。安全性やかんきょう代償は大きいと感じました。
- 字膜スーパーでメガネを持ってこなかったのによく見えなくてつまらなかった。
- 服を選ぶ基準を考えさせられるような内容で、とても衝撃を受けました。
- 衣服が製造されている現場をはじめて知りました。コットン農場やアジアの労働現場の厳しさを知りませんでした。
- 映画はいろいろ考えさせられる内容でした。重い映画でした。でも見られて良かったとも感じます。
- 考えさせられるなかなか良い映画でした。今後、洋服を買う時は“タグ”を見て・・・どう購入するか。



- オーガニックと衣類の関係がよくわかりました。こんな世界があったなんて、ショックでした。もっとまずしい人々の実態を世界に発信していくべきです。土、水、空気をきれいに保つことに努力しなければいけませんね。
- とても考えさせられた作品でした。オーガニック、これからもっと考えられていく必要があると気が付かされました。
- オーガニックのイメージ。オーガニックはおいしい？オーガニックは高い？オーガニックは志が高い？
- 最近「オーガニックコットン」表示よく見かけます。それほど高価ではありません。本物なのでしょうか？はっきり書きますと肌着、衣料品（無印良品、イーオンのP. B. 商品など）。
- 私も無農薬有機さい培 米、野さい作っています。ひじょうにきょうみがあります。H 3年から 26 年間になります。
- 非常に興味深い内容でした。私は振り回されない生活でしたが、それを許せない人達も居る事に気づかされました。
- これまで、衣類を安易に捨てていた自分の行動を激しく後悔、反省しました。現在の雇用、労働の根本的な問題が示されていると感じました。経費等の企業の考え方によらず、1 人の労働者が時間を使って労働力を提供することは、あらゆる人が平等に対価を得るべきだ。





オーガニックを 仙台で楽しもう

~オーガニックを味わい、感じ、未来を変えよう~

11月11日 Sat.

10:30-16:00 入場料 ¥1000

会場 仙台市市民活動サポートセンター地下1階
*10時開場 再入場可

主催 オーガニックウィーク実行委員会

後援 東北農政局 宮城県 仙台市 ミヤギテレビ

映画上映—生産者との交流ブース—オーガニック検査員の
講演を中心に、オーガニックについて学べる一日です。

広報用チラシ（表面）

オーガニックを味わい、感じ、未来を変えよう

オーガニックを 仙台で楽しもう

2017.11.11 (Sat)

10:30-16:00 *10時開場 再入場可

Contents 映画「ザ・トゥルーコスト〜ファストファッション真の代償〜」上映会
オーガニック検査員 作吉むつ美氏による講演
生産者との交流ブース
生産者のトークセッション
お弁当販売(先着40名様) and more...

Web www.organicweek.jp



公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク内
オーガニックウィーク実行委員会事務局

〒981-0033 仙台市青葉区松木1-2-45 フォレスト仙台5階
Tel: 022-276-5118 Fax: 022-210-5713 Mail: organicweeksendai@gmail.com

広報用チラシ (裏面)

Organic Week Sendai 2017



オーガニックを 仙台で楽しもう

～オーガニックを味わい、感じ、未来を変えよう～

映画上映—生産者との交流ブース—オーガニック検査員の
講演を中心に、オーガニックについて学べる一日です。

※再入場可能！

当日プログラム (表面)

<プログラム>

- 10:30 開会
- 10:40 映画上映「ザ・トゥルー・コスト
～ファストファッション真の代償～」
- 12:20 ランチタイム・ブース展示
- 13:20 作吉むつ美さんによる講演
- 14:40 休憩
- 14:50 生産者によるトークセッション
- 15:50 閉会
- 16:00 終了





Organic week Sendai 2017

www.organicweek.jp



主催：オーガニックウィーク実行委員会

後援：東北農政局、宮城県、仙台市、ミヤギテレビ

協賛：DIGOLD

当日プログラム (表面)

Organic Week Sendai 2017





Organic week Sendai 2017

「オーガニックを仙台で楽しもう
～オーガニックを味わい、感じ、未来を変えよう～」開催報告書
2017年11月作成・発行

◆オーガニックウィーク実行委員会事務局◆

〒981-0933 仙台市青葉区柏木 1-2-45 フォレスト仙台 5階

公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク内

TEL : 022-276-5118 / FAX : 022-219-5713 / MAIL : melon@miyagi.jpn.org

Organic Week Sendai 2017

